

国立音楽大学附属小学校

【理事長】重盛 次正

【校長】津田 正之

〒186-0005 東京都国立市西1-15-12 Tel.042-572-3531 <https://www.onsho.ed.jp/> 【交通】JR中央線国立駅より徒歩13分、「国立駅南口」バス停(1)よりバス3分、「音高」下車5分 JR南武線矢川駅よりバス国16、国42系統約5分、「音高」下車5分

教育理念

豊かな感性・知性を土台とする人間形成

特色ある音小の教育

スローラーニング ～急がせない。でも成長は止めない。～

これからの予測不能な時代を自らの力で生き抜くための深くしなやかな根を6年間かけて育てていきます。そのための3本柱は次のとおりです。

① 本物体験 ～五感で学ぶ、心で育つ～

全学年で実施する宿泊学習や登山、豊富な校外学習など、五感をフルに活用する「本物体験」を通して、あらゆる学習の土台となる好奇心や思考力、また意欲、挑戦心、協調性、根気強さなどの非認知能力を育てています。

② 寄り添う学び ～一人ひとり」と6年間～

1クラスを25名前後で編成し、専科性の利点を取り入れつつも、学級担任制を基盤とする指導体制をとっています。担任が教科の垣根を越えて生活と学びを一貫して見守ることにより、子どもの成長を面で見守っています。

③ 音楽が育む力 ～音楽それは生きる力～

音楽教育を通じて育てているのは、単なる技能の習得ではなく、「人間力」です。他者の音に深く耳を傾け、自らの音を調和させながら一つの音楽を創り上げていく過程で、集中力や注意力、協調性や社会性が育てられていきます。

目先のテストの点数や短期的な成果ではなく、生涯にわたって自ら学び続け、豊かな人生を歩む力の土台を築いていきます。



沿革

昭和28年(1953)、国立音楽大学内に開校。
昭和39年(1964)、低学年少人数による3クラス編制。
昭和59年(1984)、30周年記念式典。
平成18年(2006)8月、新校舎完成。
平成19年(2007)、全学年少人数クラス編制。

2027年度募集要項

募集人員：第1回 男女60人 ※内部推薦者を除く
第2回・第3回・第4回 若干名
出願期間(Web)：第1回10月2日～10月28日、第2回10月2日～10月30日、第3回11月6日～12月16日、第4回12月20日～1月19日
入学検定料：23,000円 ※変更の可能性あり
選考日：第1回11月1日 第2回11月6日
第3回12月20日 第4回1月22日
選考方法：一斉に行う全体でのペーパー問題、一対一での口頭試問、ルールを守ってみんなで仲良く遊ぶ、保護者面接
合格発表日：第1回11月2日 第2回11月6日(発送) 第3回12月20日 第4回1月22日
【かかる費用(2026年度参考)】
入学金：210,000円
授業料：465,000円
ほかに施設設備費、維持運営費など

併設中学進学状況

◆国立音楽大学附属中学校(一)
※成績等が基準に達した者は全員が進学可能

2026年春の合格実績

(公立) 立川国際中等教育学校、お茶の水女子大学附属中など (私立) 早稲田中、浦和明の星女子、栄東中、広尾学園小石川中、桐朋中、三田国際科学学園中、都市大学附属中、学習院中など

データパック

児童数240名 / 教員数29名

【併設校】

- 国立音楽大学附属幼稚園
- 国立音楽大学附属中学校
- 国立音楽大学附属高等学校(普通科、音楽科)
- 国立音楽大学
- 国立音楽大学大学院

上級学校に進むには

日常の学習状況や生活の様子を総合的に判断し、附属小学校の推薦により附属中学校へ進学できます。附属中学校には「演奏創作コース」「総合音楽コース」があり、「演奏創作コース」への進学には音楽的能力も求められます。

すべての子どもが居場所を見つけ、自己実現ができる学校

学校長 津田 正之

国立音楽大学附属小学校は音大附属小学校としての強みを生かした多彩な音楽カリキュラムにより、表現力、創造力、技能、協調性、根気強さなどを育てています。

また、一人ひとりの考えや答えを出すまでのプロセスを大切にするとともに、小学生の時期に非認知能力を育成することが大変重要であると考え、本物に触れる体験学習を積極的に取り入れています。